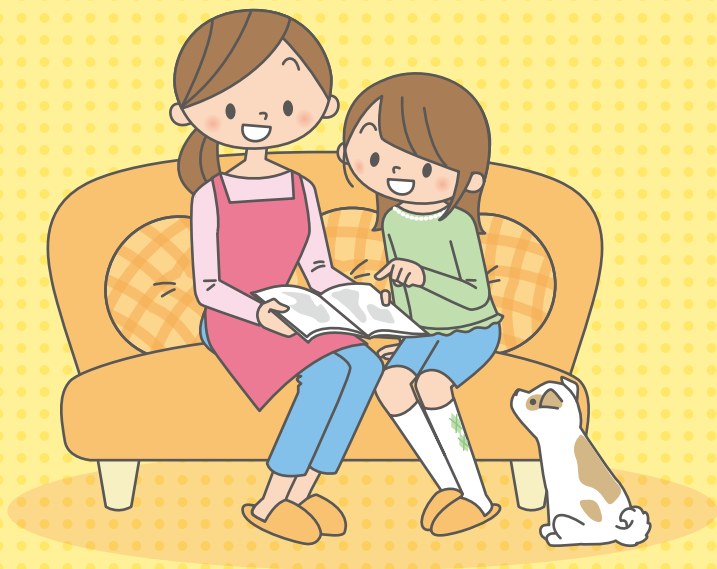


医薬品リスク管理計画
(RMP)

小児患者さん向け指導箋

メトホルミン塩酸塩錠MT「DSEP」を のむときに注意すること



メトホルミン塩酸塩錠MT「DSEP」を
服用される小児患者さんと保護者の方へ



第一三共エスファ株式会社

メトホルミン塩酸塩錠MT「DSEP」を のむときに注意すること



このおくすりは^{けつとう ち}血糖値を下げるおくすりです。

おくすりののみかた

- お医者さん・薬剤師さんの言うとおりに、おくすりは毎日決められた時間に決められた量だけのでください。
- のみ忘れてしまったら、1回とばして次にのむ時間に1回分のみましょう。2回分を一度にのんではいけません。



おくすりを飲んでいるときの注意

① 乳酸アシドーシス

(1) 乳酸アシドーシスとは(症状および対処法)

- 血液のなかに、乳酸というものが^{さんせい}増えすぎて血液が酸性になった状態です。乳酸アシドーシスになると、下痢や吐き気、息がしにくい、筋肉が痛くなるなどの症状がでてきます。これらの症状がでてきたら、**すぐにお医者さんまたは薬剤師さんに相談しましょう。**

(2) 乳酸アシドーシスをおこさないために(予防法)

- 熱があるとき、下痢や食べた物を吐いてしまったり、食欲がなくて食べられないときに乳酸アシドーシスがおこりやすくなります。このようなときは、**いったんおくすりを**のむのを中止しお医者さんまたは薬剤師さんに相談しましょう。また、からだの水分不足を防ぐために、**適度に水分**をとりましょう。



② 低血糖

- 血液の中の糖分が減りすぎると、おなかがすく、力がぬけた感じ、ひや汗、手足のふるえ、頭がいたい、胸がドキドキするなどの低血糖症状がおきることがあります。このようなときは、**すぐに砂糖やブドウ糖など甘いもの**をとりましょう。
- 高くて不安定な場所にいるとき、自転車に乗っているときに低血糖症状をおこすと事故につながる危険があります。とくに注意しましょう。



小児患者さんの保護者の方へ

乳酸アシドーシスをおこさないために

- 乳酸アシドーシスとは、血液中に乳酸が増えすぎて血液が酸性になった状態です。**症状は、吐き気、嘔吐(おうと)などの胃腸症状、呼吸が苦しい、筋肉痛などです。これらの症状がひどい時、または続く時にはすぐに医師にみてもらおうようにしてください。**
- 腎臓、肝臓、心臓、肺に病気がある、透析を受けている、乳酸アシドーシスをおこしたことがある、のいずれかに該当する場合、医師に申し出てください。
- 脱水状態が疑われる場合(下痢、嘔吐、発熱、食欲がなく食事が十分にとれないなど)は乳酸アシドーシスがおきやすくなります。このようなときは、本剤をのむのをいったん中止して、医師または薬剤師にご相談ください。
- **脱水を予防するため、適度に水分を摂取させてください。**
- 重症感染症、手術の前後または重篤な外傷がある場合、本剤を服用することができません。
- 次のときには、本剤を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
 - ヨード造影剤を用いた検査や治療を受けるとき
 - 手術を受けるとき
 - 他の医師から何か処方してもらおうときや、薬局で他の薬を購入するとき

低血糖の症状がおこったときの対処方法

- お子さんの場合は、自分で低血糖症状がおこったことがわからず、対処することができません。保護者の皆さんには、日ごろから注意深く観察していただき、ぼーっとしている、うとうとしている、わけのわからないことを言う、ろれつが回らないなどの症状がおこった場合には、すぐに**糖分を摂取**させてください。
- アルファα-グルコシダーゼ阻害薬と呼ばれる薬を飲んでいる場合には、砂糖ではなく、**ブドウ糖**をとる必要がありますので、あらかじめ医師または薬剤師に確認してください。

糖分を摂取しても症状が改善しない場合や「意識がなくなる、けいれんをおこす」などの場合には、すぐに医師にみてもらおうようにしてください。



連絡先(医療機関名)



Daiichi-Sankyo

第一三共エスファ株式会社

RMP

EPMETIP01401-1

2019年6月作成

製造販売元

第一三共エスファ株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1



販売提携

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

EPMETIP01401-1

2019年6月作成